

# 干潟の生きもの観察①・②

## 1. ねらい

・干潟の生きものを探して採集することを楽しみながら、生きもの多様さ(生物多様性における種の多様性※)を実感してもらう。

**参考** この活動の前に『干潟の生きもの追跡』を実施すると、生きもの発見が円滑に進む。

採集した生きものを用いる『二枚貝の浄化実験』、『貝の砂もぐり競争』、『アサリの模様しらべ』は、該当する生きものがこの活動で採集できれば、この後に続けて実施することができる。

※『実践のための手引き 干潟の概要』を参照

## 2. 概要

- |          |   |
|----------|---|
| ○所要時間    | 45分   |
| ○時期      | 通年 干潮時(ただし、冬は活動が活発ではないので生きものが見つけないことに留意する)  |
| ○場所      | 砂地の干潟、泥地の干潟(泥が深いところは避ける)、浅瀬、潮だまり、ヨシ原付近  |
| ○対象      | 小学校低学年以上  |
| ○人数      | 基本的に問わないが、採集道具の数や活動範囲の広さを考慮する。人数が多いときは5～8名程度の班で活動する。  |
| ○資材      | バケツ、スコップ、ふるい、バット  |
| ○事前・事後学習 | 観察した干潟の生きもの種類や特徴を図鑑等で調べる。   |
| ○応用      | 採集した生きものを、種類ごとに何匹見つかったのか数をかぞえ、数の多い種類ほど干潟に数多く生息していることがわかる。また、数の少ない種類は、その干潟で希少な種類といえる。                              |
| ○安全管理    | 夏は帽子をかぶり、日焼け対策をし、飲み物を用意する。また冬はウィンドブレーカーを着る。移動時は、ばらばらにならずに一緒に行動する。干潟では泥が深い危険な箇所もあるので活動範囲と注意点をしっかり伝える。潮汐の時間を把握しておく。 |



### 3. 実施の手順

#### 導入 (10分)

- ・干潟にはいろいろな生きものがすんでいる。実際に何種類見つけられるか調べてみよう、と参加者に投げかける。人数が多いときは班に分かれる。
- ・生きものの探し方を紹介する(『干潟の生きもの追跡』を参照)。
- ・『干潟の生きもの観察①』のたいけんカードにそって道具をそろえ、探し方やマナーを確認する。  
干潟の表面の巣穴等の痕跡を探し、そこをスコップで掘る。貝殻や海藻をめくる、石や流木をひっくり返す。見つけた生きものはバケツに採集する。  
マナーとして、スコップでほったあとや、石や流木をめくったあとは元に戻すように伝える。
- ・危険生物や危険箇所等、注意事項を伝える。
- ・活動の範囲、集合時間、集合場所を伝える。

#### 展開 (20分)

- ・各自であるいは班で、できるだけいろいろな種類の生きものを探してもらう。

#### まとめ (15分)

- ・時間になったら集合し、集めた生きものを分類する「干潟の生きもの観察②」を実施する。  
バケツに採集した生きものを、体の特徴から大まかに、「ゴカイ」・「カニ」・「二枚貝」・「巻貝」・「その他」に分ける。分類がすんだら、何種類の生きものが見つかったか数え、共有する。
- ・確認できた種類数について、感想を分かち合う。
- ・それぞれの種類がどのような場所や環境から見つけられたのかふりかえる。干潟には、砂地、泥地、浅瀬等、様々な環境があり、潮の満ち干もある、だから生きもの種類が多いということについて、気づきを分かち合う。
- ・最後に、採集した生きものを元の居た場所に放す。

### 4. 指導のポイント

#### ・可能な限り多様な環境を活動範囲とする


干潟の生きものは、海と陸の間にある多様な環境に適応して暮らしている。多くの種類の生きものを発見して多様さを実感してもらうには、砂地・泥地・礫地・浅瀬・潮だまり・濺・ヨシ原付近等の様々な環境を、危険のない範囲で幅広く巡る。

#### ・指導者が生きもの名前を知らないことにこだわらない


生きもの種類や名前を知ることが、その生きものに親しみ、理解するきっかけになる。ただし、指導者が生きもの名前を知らないと、この活動はできないということではなく、生きものの特徴をよく観察し写真を撮る等して、後で図鑑を使って調べられるようにする。

11

## 干潟の生きもの観察②



どんな生きものが見つけられたかな。下の絵を見て、仲間わけをしよう。

<p><b>①ゴカイの仲間</b></p> <p>ほそながくて、やわらかいミズのような体。</p> 	<p><b>②カニの仲間</b></p> <p>チゴガニ アシハラガニ</p>  <p>2本のハサミと8本の足を持っている。</p>
<p><b>③二枚貝の仲間</b></p> <p>マテガイ アサリ</p>  <p>2枚あわせの貝殻を持っている。</p>	<p><b>④巻き貝の仲間</b></p> <p>ホソウミナ アラムシロ</p>  <p>くるくると巻いた形の貝殻を持っている。</p>
<p><b>⑤その他の仲間</b></p> <p>フナムシ アナジャコヤドリなど…</p>	